



## Ap606 FLEXIm サーバー側インсталーション手順 ソフトウェアバージョン 2019 版対応

本アプリケーションノートではフローティングライセンスにおける FLEXIm サーバー側とクライアント側のインストール手順をご説明いたします。

以下の作業を行う前の注意: インストールを行うには管理者(アドミニストレーター)としてサーバーにログインする必要があります。また、FLEXIm 最新バージョンをインストールする前に旧バージョンの LMTOOLS より Start/Stop/Reread tab からサーバーを Stop させる必要があります。

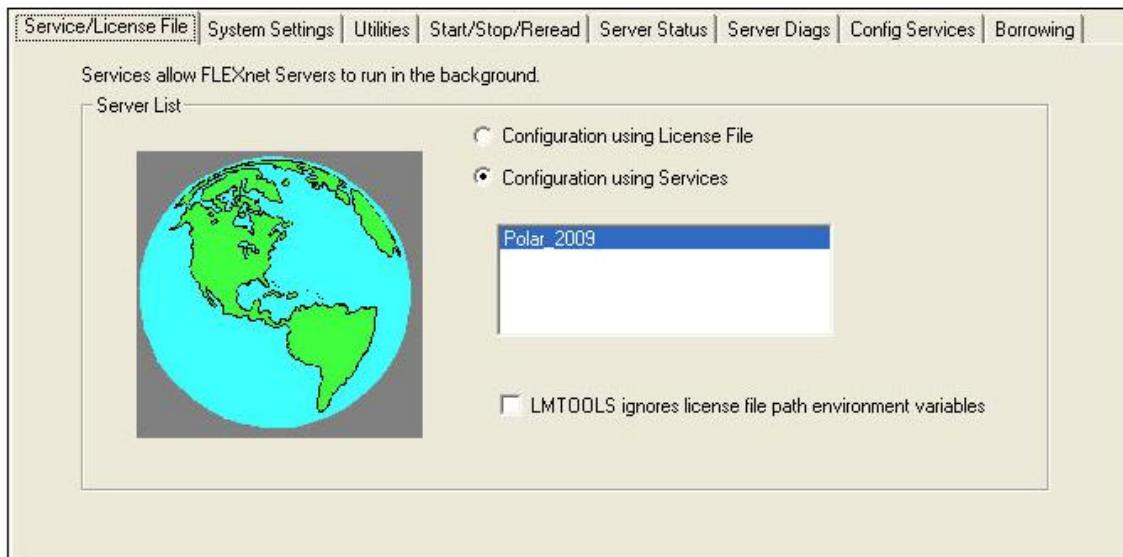
FlexLm 製品の全機能に関する詳細は FlexLm ユーザーマニュアルまたは web サイト [www.macrovision.com](http://www.macrovision.com) をご覧ください。

### ステップ 1

サーバーの CD-ROM ドライブにインストール CD を挿入します。Server Side Install¥Windows フォルダに進みます。インストーラーをフォルダの SETUP.EXE から起動します。ファイルを E メールで入手またはダウンロード(通常は圧縮ファイル)した場合には、そのファイルを適当なフォルダに抽出し、そのフォルダから SETUP.EXE を起動します。起動するとサーバーに次の初期設定でフォルダが作成されます。C:¥ProgramFiles¥FlexLm¥V10.8.7

### ステップ 2

ステップ 1 で作成したフォルダを開け、LMTOOLS.exe プログラムを実行し LMTOOLS ダイアログ ボックスを表示します。



LMTOOLS ダイアログ ボックス

**ステップ 3**

ダイアログ ボックスで System Settings タブを選択します。



System Setting のページ

System Settings のページには、コンピューター/ホスト名およびイーサネット (MAC) アドレスなどを含む選択したサーバーの重要な情報が表示されます。

一つ以上のイーサネットのアドレスを報告している場合には(例えば、複数のインターフェイス カードをインストールして、それが個別のネットワークセグメントのサービスを受けている場合)、一つのアドレスをライセンス用サーバーとして選択してください。FLEXIm サーバーはその選択したアドレスを使用してネットワーク セグメントに接続しているマシンに対してライセンスを供与します。

「Save HOSTID Info to a File」ボタンをクリックします。ファイルの場所を指定して[Save]をクリックします。これで以下の E メールに必要なテキスト ファイルが作成されます。<mailto:tetsuya.koizumi@csieda.co.jp>

クライアント ノードが指定されているインストールの場合には LMTOOLS をそれぞれのクライアント マシンで起動し、それぞれのホスト ID ファイル(その中にはクライアント マシンのイーサネット アドレスを含めてください)を上記の E メールアドレスに含めます。ライセンス マネージャーは指定したノードに対してのみライセンスを供与します。



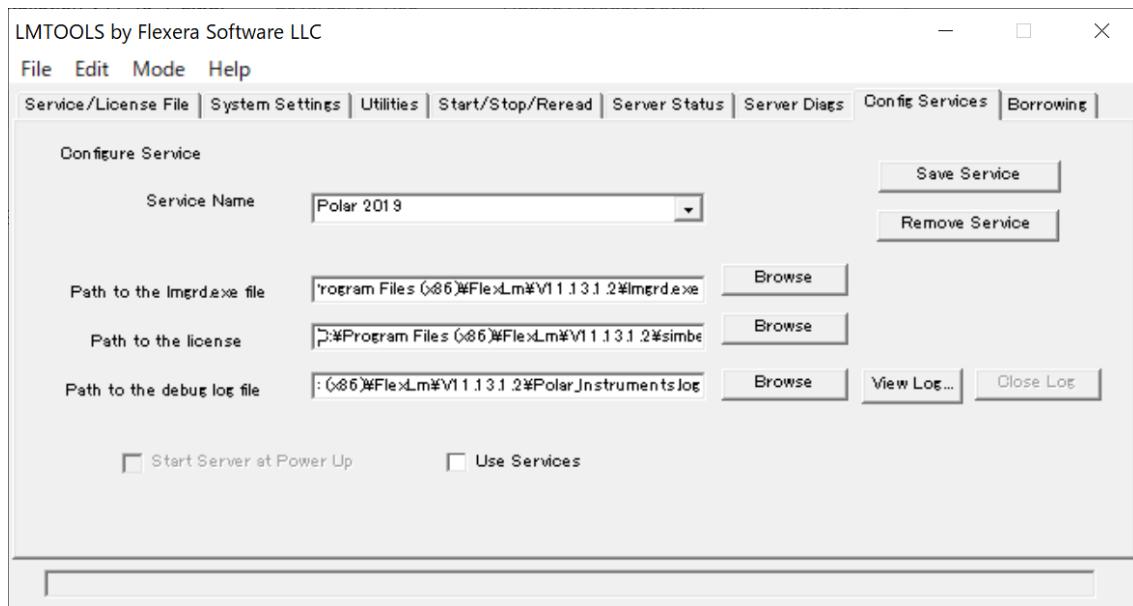
## Ap606 FLEXIm サーバー側インсталляーション手順 ソフトウェアバージョン 2019 版対応

重要: サーバー側PCをクライアントとしてもご利用されたい場合は HOSTID をお送り頂く際にその旨をメールに記載して下さい。上記のEメールにライセンスファイルに載せる会社名を記入して送信してください。会社名の記入が無い場合にはライセンスのご提供が遅れる恐れがあります。ポーラー担当者でこの情報を入手して処理を終たらお客様にEメールにてライセンス ファイルをお送りします。また、ライセンス ファイルがお客様のサーバーにインストールされるまでソフトウェアは使用できません。ライセンス ファイルは指定したサーバーマシンに「制限」されますので、他のサーバーではこのライセンス ファイルは使用できません。

### ステップ 4

ポーラー担当者よりライセンス ファイルを入手したら、それを LMTOOLS.exe を保存している同じフォルダ (C:\Program Files (x86)\FlexLm\V11.13.1.2) に貼り付けます。(64ビットパソコンの場合)

Config Services タブを選択します。



Config Services タブ

Service Name のドロップダウンにサービス名を入力します。

例えば、Polar Si8000m をインストールする場合、Polar Si8000m を Browse(参照)してサービス名を指定します。

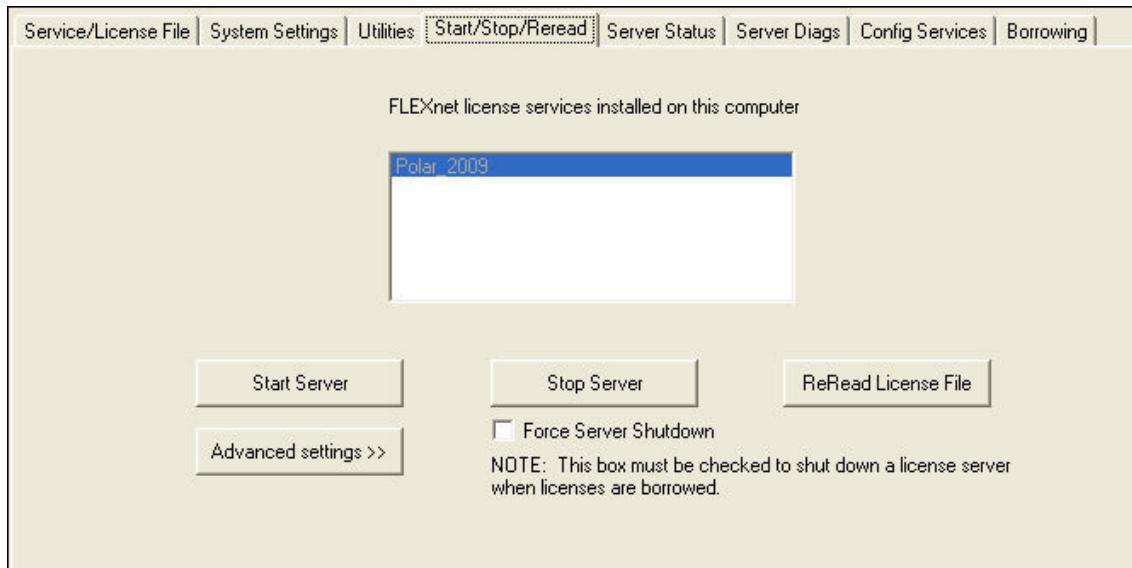
3つの Browse ボタンを使用して lmgrd.exe ファイル、ライセンスファイル(.Lic)、および Polar Si8000m.log ファイルを選択します。また、Use Services および Start Server at Power Up チェックボックスを選択します。このタブを閉じる前に Save Service ボタンを選択してこれらの設定を保存します。



## Ap606 FLEXIm サーバー側インсталляーション手順 ソフトウェアバージョン 2019 版対応

### ステップ 5

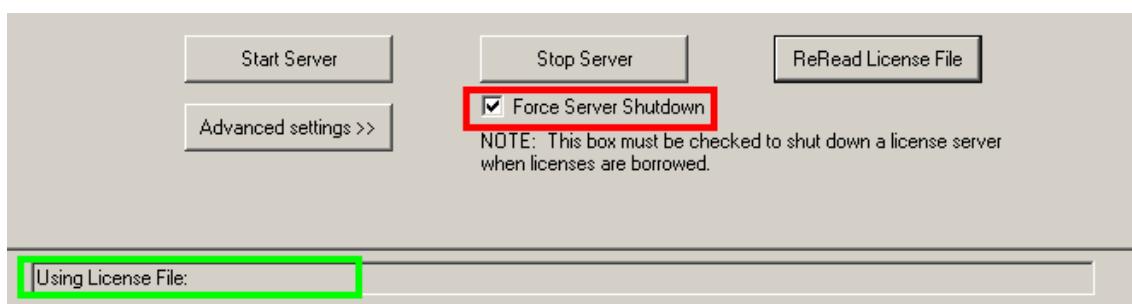
Start/Stop/Reread タブを選択します。



### Start/Stop/Reread タブ

最初に Stop Server ボタンを選択し、サーバーを止めた後 Start Server ボタンを押しサーバーを起動させ、ReRead License File ボタンを押してライセンスを再読み込みさせます。このとき画面下のサーバーが正常動作をしているメッセージを確認して下さい(下図で緑の四角で囲まれたところ)。適切にサーバーが動作していない場合、Stop Server を押して再度、Start Server ボタンを選択して下さい。

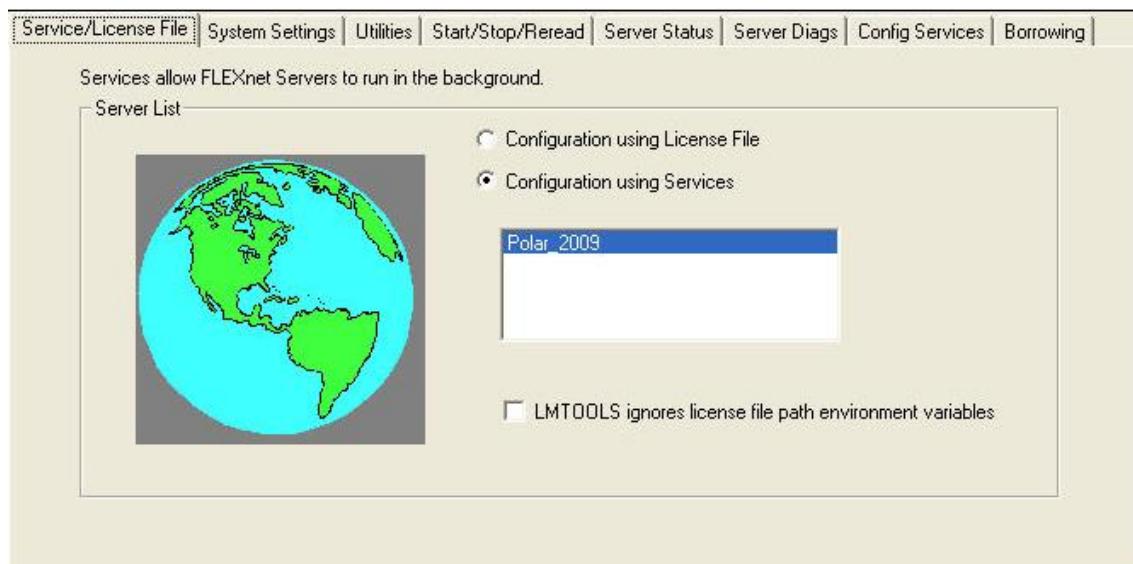
Stop Server を押したときに画面下に Fail to stop server と表示される場合があります。その時は Force Server Shutdown のチェックボックスにチェックを入れてから(下図で赤い四角で囲まれたところ) Stop Server を再度試みてください。強制的にサーバーをストップさせた後 Start Server → ReRead License File を押します。(ここで ReRead License File を押しても"Fail to ReRead License File" が表示されてしまって、ライセンスを読み込むことができない場合、Config Service のタグに戻って Path to the license file の Browse ボタンで再度ライセンスのロケーションを指定しなおしてから ReRead License File を再度実行してください。





## Ap606 FLEXIm サーバー側インсталляーション手順 ソフトウェアバージョン 2019 版対応

**ステップ 6** Service/License File タブを選択します。白枠内に利用するサービス名が記載されている事を確認して下さい。また、Configuration using Service にチェックを入れて下さい。



サーバー側での作業は以上で終了です。

**重要:Windows XP SP2 をサーバーの OS として利用される場合、LMGRD.EXE と POLAR.EXE を Windows XP ファイアウォールの例外として設定する必要があります。**

以下はクライアントPC側の作業となります。

### ステップ 7

クライアント側 PC にソフトウェア本体をインストール後 (SETUP.EXE よりインストール)、ソフトウェア本体を最初に立ち上げると以下のウインドウがポップアップしますので、Specify the License Server System を選択の上、Next ボタンを押してください。





## Ap606 FLEXIm サーバー側インсталーション手順 ソフトウェアバージョン 2019 版対応

### ステップ 8

その後にライセンスサーバーのアドレス(例えば 255.255.10.0 など)を入れて Next を押して下さい。



これで全てのインストール作業は終了です。 ソフトウェアを再立ち上げすればご利用頂けます。

重要: ネットワークフローティングライセンスは 1 ライセンスにつき、1 台のクライアントの利用が可能です。複数のクライアントが同時に利用する場合には複数のライセンス権限が必要となりますので、担当者までお問い合わせ下さい。

また、クライアントライセンスが利用を停止した場合、他のクライアントが利用できるまで一定の時間(30 秒以内)はアクセスできませんので、予めご了承下さい。

FlexLM ライセンスについて、さらに詳細な情報が必要な場合には、担当: 小泉 080-7011-8501 までお問い合わせ下さい。